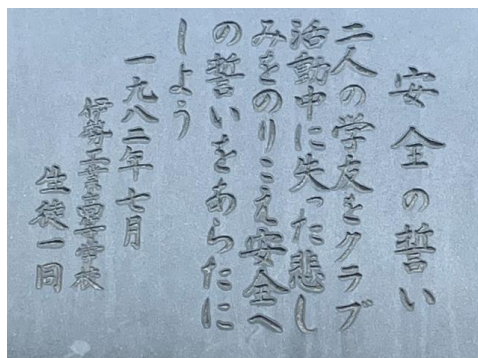


## 学校のように

### 第二回（令和3年6月3日）「安全宣言」を行いました

先日（5月26日）、伊勢工業高校において命の安全意識を高めるための「安全宣言」を行いました。

本校では40年ほど前に部活動中、生徒が不慮の事故に遭い尊い命を失うという悲しい事故がありました。これを境に、生徒会が事故発生時期に合わせて「安全宣言」をし、命を守るための危機意識を高めようと主体的に取り組んでいるのです。安心安全に学校生活を送ることは、生徒だけでなく教職員も含めて学校全体で取り組まなければなりません。この日はまさしく安全のため感染対策を徹底して1年生が体育館に集まり、2、3年生は各ホームルームでのリモート参加としました。



グラウンドに設置されている安全の誓い

生徒会長で機械科3年生の出口真颯さんが体育館ステージに登壇し、「部活動や実習では注意事項をよく守り取り組むこと、自転車通学時には信号無視や傘さし運転などをせず、歩行者に注意を払い走行すること、水の事故など学校外でも安全に注意を払い行動すること」を宣言しました。生徒会長の安全宣言は、力強く、はっきりとしており、「安心安全な学校は自分たちで創り出すのだ」との強い意志が伝わり、在籍する生徒そして教職員全員が彼の宣言によって一つになった気がしました。私も校長として、「今この場にいる全員が「命の大切さ」について改めて考え、あらゆる場面で安全に気を付けながら学校生活を送りましょう。」と呼びかけました。

伊勢工業高校は、普通教科だけでなく、教育課程上、危険を伴う工業実習も学習するため、安全教育に力を入れています。この安全教育の徹底こそ、卒業後、社会人として様々な仕事に携わるうえで重要な力になるのです。

これからも、危機意識、安全意識の習慣づけをとおして、登校から帰宅するまで安心安全な学校生活を送ってまいります。